

ハートライフ病院職員の新型コロナウイルス感染について（C19 関連-第7報）

2020年8月13日（木）に、新たに当院看護職員の新型コロナウイルス感染が確認されました。感染経路については現在調査中です。当該職員は、8月10日（月）に勤務し、帰宅後に咽頭痛が発現しました。翌日より非番のため健康観察を行っていましたが、勤務日の8月13日（木）の勤務前に当院の発熱外来でPCR検査を実施しそのまま帰宅し、当日中にPCR検査陽性が確認されました。

当該職員は、8月10日（月）の日勤中はコロナを疑う症状はなく、症状発現後は勤務しておりませんが、最後に病棟業務に携わった日の濃厚接触者（職員2名、患者1名）のPCR検査を実施し陰性が確認されています。濃厚接触の職員2名については、引き続き健康観察と再検査による陰性を確認するため、現時点で自宅待機となっております。

8月13日（木）より、濃厚接触ではない当該病棟の入院患者及び当該病棟に勤務する職員全員のPCR検査を実施し、陰性が確認されるまでの間、当該病棟の入院患者の移動を制限しましたが、順次陰性が確認され8月15日（土）より通常運用に戻っております。

なお、本第7報と第1報～第6報に現時点で関連は認められておりません。

1. 当該職員の基本情報

- 年代：20代
- 性別：男性
- 職種：看護職員（病棟勤務）
- 居住地：本島中部

2. 職員の行動履歴

- | | |
|-------------------------|--|
| 8月10日（月曜日） | 当該職員は通常出勤、病棟にて従事（発熱なし、その他無症状）。
帰宅後に咽頭痛が発現。 |
| 8月11日（火曜日）
～12日（水曜日） | 当該職員は非番。 |
| 8月13日（木曜日） | 当該職員は出勤前に、念のため当院でPCR検査を受け、勤務せずにそのまま帰宅する。当日中にPCR検査陽性を確認し自宅待機となる。
8月10日（月）勤務時の濃厚接触者（職員2名、患者1名）についてPCR検査を実施し、職員2名については自宅待機となる。
当該病棟のその他の入院患者と職員全員についてもPCR検査を実施。 |
| 8月14日（金曜日） | 濃厚接触者全員の陰性を確認。職員2名については、後日の再検査による陰性確認まで引き続き自宅待機となる。
当該病棟のその他の入院患者と職員全員のPCR検査陰性を順次確認。 |
| 8月15日（土曜日） | 当該病棟の制限を解除。 |

- 当該職員の感染経路は調査中です。
- 病棟業務に従事した日は、全職員対象の健康観察で発熱症状無し、その他コロナを疑う症状無しでした。
- 勤務中は規定に則し、勤務中の手指衛生、マスクの常時着用などの感染対策を遵守していました。

3. 病院の対応について

- 当該職員が勤務する病棟及び想定される導線についてアルコール消毒を行いました
- 当該職員と濃厚接触があった入院患者 1 名と職員 2 名の PCR 検査を実施し、全員の陰性を確認しています
- 濃厚接触のあった職員 2 名は陰性を確認しておりますが、健康観察を継続し後日実施する PCR 再検査による陰性が確認されるまでは引き続き自宅待機とします
- その他の当該病棟の入院患者及び職員、当該職員が勤務する病棟との往来がある職員につきましても、順次 PCR 検査を実施し陰性を確認しております
- PCR 検査対象となりました患者ご家族に対しては、当院よりご連絡を差し上げております
- 濃厚接触の患者及び職員の PCR 検査、および当該病棟の入院患者及び当該病棟に勤務する職員全員の PCR 検査陰性が確認されるまでのあいだ、当該病棟の入院患者の移動を制限しておりましたが、8 月 15 日（土）までに順次陰性が確認されたため制限を解除いたしました

4. 今後の運営について

- 感染経路は調査中ですが、当院内で確認されている陽性者との接触は認められていないため、現時点では関連はないとみられます
- 当該病棟に関しては、感染予防対策を講じながら通常どりの運営と致します。
- 今後とも順次、状況に変化があり次第、ホームページや関係団体を通じた適切な情報開示に努めます。通常の病院運営への支障を避けるため、本事案に関しまして当院への直接のお問い合わせは、ご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院

院長 佐久川 廣